（記入例）

様式Ａ（１）　当該事業年度　公募要項Ⅲ．照会先一覧の区分欄中に下線を付してある研究事業名

平成＿＿＿年度厚生労働科学研究費補助金（　○○○○　研究事業）研究計画書（新規申請用）

自宅の住所を記入

平成＿＿年○○月○○日

厚生労働大臣　　殿

一部の研究事業については、提出先が別に示されているので注意すること。

住　　所　〒100-0000　東京都○○区幸町100

申請者　フリガナ　ヤマダ　タロウ
氏　　名　山田　太郎
生年月日　１９５０年　１月　１日生

当該研究事業年度　公募要項Ⅲ．照会先一覧の区分欄中に下線を付してある研究事業名

平成＿＿＿度厚生労働科学研究費補助金（○○○○○○○○○○○○研究事業）を実施したいので

次のとおり研究計画書を提出する。

研究の目的と成果がわかる課題名とすること。　公募要項Ⅴ．の公募研究課題に付された公募課題番号

１．研究課題名（公募番号）　：　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（１０１１０１０１）

平成２４年度中に研究事業を遂行するために必要な経費（要望額）

２．当該年度の計画経費　：金　６０，０００，０００　円也（間接経費は含まない）

当該年度の実際に研究を開始する日から当該年度の実際に研究が終了する日を記入すること。

３．当該年度の研究事業予定期間　：平成＿＿年＿＿月＿＿日から平成＿＿年＿＿月＿＿日

（３）年計画の１年目　複数年度にわたる研究の場合に記入すること。その期間は原則として３年を限度とする。

当該年度を入力。
当該年度4月1日から当該年度3月31日

４．申請者及び経理事務担当者

申請者	①所属研究機関	国立厚生労働センター		
	②所属部局	臨床研究部		
	③職名	臨床研究部長		
	④所属研究機関所在地 連絡先	〒100－0000　東京都○○区幸町200 Tel:03-3333-1111　Fax:03-3333-3333 E-Mail:　yamada@abcd.go.jp		
	⑤最終卒業校	霞ヶ関大学医学部	⑥学位	医学博士
	⑦卒業年次	昭和４８年	⑧専攻科目	感染症内科
経理事務担当者	（フリガナ） ⑨氏名	タナカ　ハナコ 田中　花子		
	⑩連絡先・所属部局・課名	〒100-0000　東京都○○区幸町200 国立厚生労働センター会計課 Tel:03-3333-1111（内 200）　Fax:03-3333-3333 E-Mail:tanaka@abcd.go.jp		

経理事務に卓越した者を所属機関の長が指名すること。

書類提出時にはページを付すこと

169

（記入例）

⑪研究承諾の有無	有 ・ 無	⑫事務委任の有無	有 ・ 無	⑬COI（利益相反）委員会の有無	有 ・ 無
⑭COI委員会への申出の有無	有 ・ 無	⑮間接経費の要否	要（9,000千円、計画経費の15%）・否		

「2．当該年度の計画経費」の３０％を限度に間接経費を要望することができる。

5．研究組織情報

当該年度の金額を入力。間接経費は含まない。合計が表紙の金額と合っているかどうか確認。

①研究者名	②分担する研究項目	③最終卒業校・卒業年次・学位及び専攻科目	④所属及び職（研究実施場所）		
山田　太郎	○○○研究(総括)	霞ヶ関大学医学部、昭和 48 年卒、医学博士、○○科	国立厚生労働センター、○○科（臨床研究部）	臨床研究部長	50,000
鈴木　花子	臨床研究協力体制の整備	丸の内大学医学部、昭和 61 年卒、医学博士、○	丸の内大学難病研究所、○○科	准教授	10,000

研究協力者の記入は必要ない。

配分予定額を記入、又は、「研究代表者一括計上」と記入のこと。

P.1の4.の申請者と同じ内容になるように記載。

6．政府研究開発データベース研究者番号及びエフォート

研究者名	性別	生年月日	研究者番号（８桁）	エフォート（%）
山田　太郎	男	19500101	12300001	20%
鈴木　花子	女	19551005	23400002	15%

エフォートが合っているか。

コード・名称がちゃんと対応しているか確認。

研究分野及び研究区分

	コード番号	重点研究分野	研究区分
研究主分野	101	ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ	ゲノム
研究副分野１	102	ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ	医療・医学
研究副分野２	104	ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ	脳科学
研究副分野３	105	ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ	ﾊﾞｲｵｲﾝﾌｫﾏﾃｨｸｽ

別表第１「研究分野コード表」より該当するものを選択し、コード番号、重点研究分野、研究区分を記入

研究キーワード

	コード番号	研究キーワード
研究キーワード１	1	遺伝子
研究キーワード２	2	ゲノム
研究キーワード３	6	核酸
研究キーワード４	7	細胞・組織
研究キーワード５		ｼｽﾃﾑ生物学

別表第２「研究キーワードリスト」より該当するものを選択し、コード番号、研究キーワードを記入

該当するものがない場合、30字以内で独自に記入

書類提出時にはページを付すこと

170

（記入例）

研究開発の性格

基礎研究		応用研究		開発研究	

基礎研究・応用研究・開発研究いずれかに○を記入

7．研究の概要

（1）「8．研究の目的、必要性及び特色・独創的な点」から「11．倫理面への配慮」までの要旨を**1，000字以内**で簡潔に記入すること。
（2）複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と当該事業年度の計画との関係が分かるように記入すること。
（3）研究の目的、方法及び期待される効果の流れ図を記入又は添付すること。

公募要項の各事業ごとに記載されている留意事項を確認のうえ、適切に記載すること。

（流れ図）

8．研究の目的、必要性及び特色・独創的な点

（1）研究の目的、必要性及び特色・独創的な点については、適宜文献を引用しつつ、**1，000字以内**で具体的かつ明確に記入すること。
（2）当該研究計画に関して現在までに行った研究等、研究の最終的な目標を達成するのに必要な他の研究計画と、当該研究計画の関係を明確にすること。
（3）研究期間内に何をどこまで明らかにするか、各年度の目標を明確にしたうえで記入すること。
（4）当該研究の特色・独創的な点については、国内・国外の他の研究でどこまで明らかになっており、どのような部分が残されているのかを踏まえて記入すること。

公募要項の各事業ごとに記載されている留意事項を確認のうえ、適切に記載すること。

書類提出時にはページを付すこと

171

（記入例）

９．期待される成果

（１）期待される成果については、厚生労働行政の施策等への活用の可能性（施策への直接反映の可能性、政策形成の過程等における参考として間接的に活用される可能性、間接的な波及効果等（民間での利活用（論文引用等）、技術水準の向上、他の政策上有意な研究への発展性など）が期待できるか）を中心に**６００字以内**で記入すること。
（２）当該研究がどのような厚生労働行政の課題に対し、どのように貢献するのか等について、その具体的な内容や例を極力明確にすること。

公募要項の各事業ごとに記載されている留意事項を確認のうえ、適切に記載すること。

１０．研究計画・方法

（１）研究目的を達成するための具体的な研究計画及び方法を**１，６００字以内**で記入すること。
（２）研究計画を遂行するための研究体制について、研究代表者、研究分担者及び研究協力者の具体的な役割を明確にすること。
（３）複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と年次計画との関係がわかるように記入すること。
（４）本研究を実施するために使用する研究施設・研究資料・研究フィールドの確保等、現在の研究環境の状況を踏まえて記入すること。
（５）臨床・疫学研究においては、基本デザイン、目標症例・試料数及び評価方法等を明確に記入すること。

公募要項の各事業ごとに記載されている留意事項を確認のうえ、適切に記載すること。

書類提出時にはページを付すこと

（記入例）

１１．倫理面への配慮

・研究対象者に対する人権擁護上の配慮、不利益・危険性の排除や説明と同意（インフォームド・コンセント）への対応状況及び実験動物に対する動物愛護上の配慮等を記入すること。
公募要項の各事業ごとに記載されている留意事項を確認のうえ、適切に記載すること。
遵守すべき研究に関係する指針等 （研究の内容に照らし、遵守しなければならない指針等については、該当する指針等の「□」の枠内に「○」を記入すること（複数の指針等が該当する場合は、それぞれの枠内に「○」を記入すること。））。 □ ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針　○ 疫学研究に関する倫理指針 □ 遺伝子治療臨床研究に関する指針　□ 臨床研究に関する倫理指針 □ ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針　該当する部分に○を付けること □ 厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針 □ その他の指針等（指針等の名称：　　）

疫学・生物統計学の専門家の関与の有無	有　・　無　・　その他（　　）
臨床研究登録予定の有無	有　・　無　・　その他（　　）

該当する項目を選択すること。

書類提出時にはページを付すこと

173

（記入例）

１２．申請者の研究歴等

申請者の研究歴： 過去に所属した研究機関の履歴、主な共同研究者（又は指導を受けた研究者）、主な研究課題、これまでの研究実績、受賞数、特許権等知的財産権の取得数、研究課題の実施を通じた政策提言数（寄与した指針又はガイドライン等））
発表業績等： 著者氏名・発表論文名・学協会誌名・発表年（西暦）・巻号（最初と最後のページ）、特許権等知的財産権の取得及び申請状況、研究課題の実施を通じた政策提言（寄与した指針又はガイドライン等） （発表業績等には、研究代表者及び研究分担者ごとに、それぞれ学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの（過去３年間）を選択し、直近年度から順に記入すること。また、この研究に直接関連した論文・著書については、著者氏名の名前に「○」を付すこと。）

１３．厚生労働科学研究費補助金の各研究推進事業に推薦する予定の研究者

年　　度	外国人研究者招へい事業	外国への日本人研究者派遣事業	若手研究者育成活用事業（リサーチ・レジデント）
平成　　年度	名	名	名
平成　　年度	名	名	名
平成　　年度	名	名	名

平成　　年度及び平成　　年度は複数年度にあたる研究を行う場合に記入すること。（以下同様）

書類提出時にはページを付すこと

（記入例）

足して合っているか確認。

１４．研究に要する経費

（１）各年度別経費内訳

（単位：千円）

年　　度	研究経費	内訳					
		物品費		人件費・謝金		旅費	その他
		設備備品費	消耗品費	人件費	謝金		
平成　　年度							
平成　　年度							
平成　　年度							
合　計							

（２）機械器具の内訳（（１）の物品費のうち５０万円以上の機械器具については、賃借が可能な場合は原則として賃借によること。）

ア．賃借によるもの（５０万円以上の機械器具であって、賃借によるもののみ記入すること。）

年　　度	備　　品　　名	賃借の経費　(単位:千円)	数　量
平成　　年度	単価５０万円以上の機械器具でリース等の賃借契約を行う予定のあるものを記入すること。		
平成　　年度			
平成　　年度			

イ．購入によるもの（５０万円以上の機械器具であって、賃借によらないもののみ記入すること。）

年　　度	備　　品　　名	単　　価　(単位:千円)	数　量
平成　　年度			
平成　　年度			
平成　　年度			

書類提出時にはページを付すこと

175

（記入例）

（３）委託費の内訳（（１）のその他のうち委託費について記入すること。）　（単位：千円）

年　度	委　託　内　容	委　託　先	委　託　費
平成　年度			
平成　年度			
平成　年度			

１５．他の研究事業等への申請状況（当該年度）　（単位：千円）

当該年度に申請している分を記入

新規・継続	研究事業名	研　究　課　題　名				ート(%)
新規	○○研究費	○○に関する研究	代表	12,000	文部科学省	20%

新↓旧

当該年度に申請者が、厚生労働省から交付される研究資金（特例民法法人等から配分されるものを含む。）、他府省の研究資金、独立行政法人から交付される研究資金及び特例民法法人等から交付される研究資金等を受けたことがあれば、直近年度から順に記入すること。。

１６．研究費補助を受けた過去の実績（過去３年間）　（単位：千円）

当該年度より過去3年分を記入

年　度	研　究　事　業　名	研　究　課　題　名	補　助　額	所管省庁等

新↓旧

直近年度から遡って過去３年間において、申請者が補助を受けた主要な研究事業について記入すること。（分担として実施したものを含む。）

１７．補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和３０年法律第１７９号）第１８条第１項の規定により補助金等の返還を命じられた過去の事業　（単位：円）

年　度	研究事業名	研究課題名	補助額	返還額・返還年度	返　還　理　由	所管省庁等

新↓旧

平成１６年度以降に補助金等の返還を命じられたことがあれば、直近年度から記入すること。

（添付書類等がある場合は、この後に一つの電子ファイルになるよう添付してください。）

書類提出時にはページを付すこと

176